十八日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢 □郵稅 金十五錢 □一部 金二錢
□廣告料一行 金六十錢 □雜報欄 金九十錢 □場所指定一行 金一圓增
□電話（平）七八六番 □振替口座仙台一〇八九六番
福島縣平市田町十六番地 發行所 磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人 岡田弘成

隨筆

龍膽の花さく頃

志貴桂石

〔二〕

上古史の一頁を飾る、その絢爛たる飛鳥文化の、また、社會的にも文化的にも目覺し 飛躍を見せた奈良朝の、殘して行つたところの寂びしさの寂びの中からにじみ出るゆかしい香り！

この寂びさ、香りは、他の何處の地へ行つても到底求め得られない。これが大和路の持つ、唯一の魅力であり、生命である。

茂るにまかせた雜木林の中に、古びた堂宇がぽつんと忘れられたやうに殘されてゐる。

秋篠寺であつた。

光仁、桓武兩天皇の勅願所として、善珠法師が創建したのは、光仁天皇の寶龜十一年であるといふ。

勅願所として、廣大な寺領を擁し、壯麗な堂宇を誇り四時參詣人の絕へなかつたであらう、この寺も、その後、幾度かの兵火に、漸次衰頽して、今は僅かに講堂しか殘つてゐない。けれども、運慶、安阿彌、法橋等著名な佛師の作つた、數體の佛像が國寶としてあることは、嬉しいことである。

×

所々に新らしい家が建ち道も大分改修されて、四圍の景色は幾分違つては來てゐるが、唐招提寺は、昔のまゝの姿であつた。

五年前に來た時、十年前に、いや二十幾年前に來た時の唐招提寺と少しも變つてはゐなかつた。

石の寺標の立てゝある、直ぐ右側の古池には、藻が一面に擴つて その周圍に黑ずんだ老松が數本、見事な枝ぶりで伸びてゐた。

小さな門の扉が、半分朽ちたまゝ傾いてゐるのも、亂をはらんだ土塀のところどころが崩れて、青い苔がその上を這ふてゐるのも、昔のまゝの姿であつた。

わたくしは、たゞ無性に嬉しかつた。

この寺は、律宗の本山で唐僧の鑑眞が建立したもので、七間四面の金堂の棟の兩端に鴟尾を上げてあるのは珍らしく、天平時代の建築物の中で、最も宏莊な寺として、學者 垂涎措くあたはざるものであるといふが、門外漢のわたくしにはその眞價は分らない。けれども、なんとなくどつしりした尊いものであることを感じた

11月19日

△訪日飛行のジャピー氏佐賀縣脊振山中で遭難△伊ファシスト大評議會で海空軍の大擴張と統制經濟の強化決定（昭和十二）△皇軍蘇洲占領△國民政府南京放棄に決す（昭和十二）

○

成功は結果であつて目的であつてはならない

フロオベル

偶會

○哄然と笑つて女將柿をむく　旗城
○まろまろとハリ器の柿の寒さあり　同
○碧天の極まるところ鳥渡る　同
○夜學子のひたひた急ぐ門暗し　鷹子
○盆の柿に添わしナイフの冷やけさ　同
○みだれ咲くコスモスに鳥渡る朝　[illegible]

連續講談

異說赤穗浪士

別題『異說赤穗義士』『赤穗誠忠錄』

〔60〕

桃川若燕

畫 磐城木齋

手引

『何故斯樣なところに間誤々、してゐるのだ。夜更けに女一人で斯う云ふところを步いてゐるから惡者の爲めに捕はれるのだ。サ、早く歸れ』

そのまゝ行かうとする安兵衛の裾を、お桃はしつかり抑へ、

『若樣暫らくお待ち下さいまし、妾は卑しい百姓の娘身分は違ふて居りますが、餘りと云へばお心强ひ、妾の命を掛けて居ります方一言ぐ お言葉をくださいましても、宜しいかと存じます』

『然らば汝は我が爲めに何命を惜まんと云ふか——』

『ハイ、貴方樣の爲なれば假令火水の中でも少しも恐れはいたしません』

『ウーム、それ程に其方が思ふて呉れるならば、茲に一つの賴みがある、それを叶へて呉れるか』

『妾に出來ますことなれば どのやうなことでもいたします』

『他でもない、其方も知つてゐる御城內の梶田彌三右門 アノ梶田彌三右門を其方の計らひで此の紫雲潟へ呼び出して貰ひたいのだ、其方の手にて出來ねば、其方の父勘十郎に手傳つて貰ひたひ、知つての通り、怨み重なる梶田親子、御城內に乘り込んで 彼等を斬つて捨てるのは易いが、さ一度姿をかくした安兵衛が御城下の土を踏んで、かし出親子を斬つたとあつてはお上への恐れがある、兄上采女殿に災禍が掛つてもならぬ、其方の計らひで、妨に誘ひ出し、思ふ存分斬り苛んで亡き父上の御無念を晴らさん考へのう。お桃、何んと肯いては呉れまいか』

『ハイ』

お桃は、膝に手を置いて暫し考へてゐたが

『よろしうございます、きつと妾が命に掛けて連れ出して參ります——』

『ウン、それでは肯いて呉れるか——』

『ハイ』

『それを聞いて拙者も嬉しく思ふ何分賴んだぞ』

『ハイ、お言葉通り計らひまして明日の晩は必ずお連れ申します——』

その翌朝、かじ田彌三右衞門の門前で、門番の喜作と云ふが、しきりに箒目を立てゝ、水を撒いてゐるところへ、年ごろ十六、七の女が

『御免遊ばせ』

『……何んだ』

『お願ひがあつて參りました、妾は、紫雲寺村から參りました者、旦那さまにお目通りをいたしたう存じますが……』

『何の用かね』

『アノ、用件はお目にかゝらなければ申し上げられません、どうぞお取次を願ひたう存じます』

『ウンよし、取次いでやるが、お前さんの名は何んて云ふんだい』

『ハイ、カエ藏の家から參りました——』

『カニ藏……お前、何かいカニ藏の內儀さんかい』

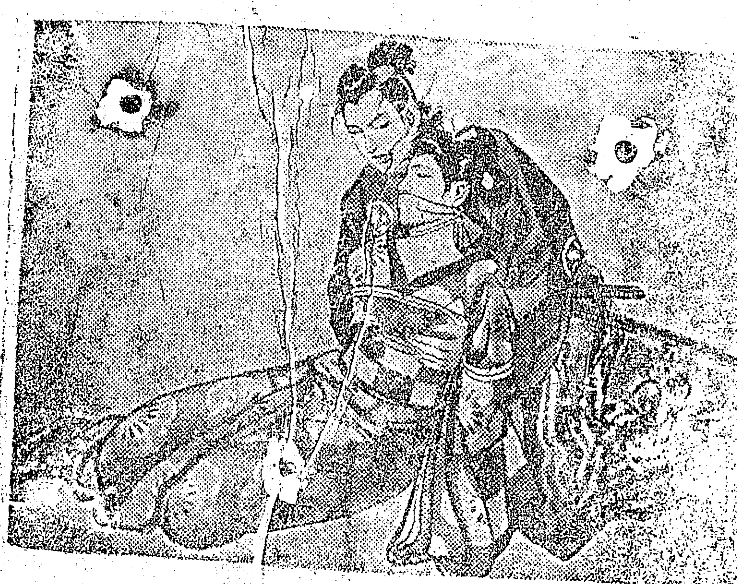
『家の者でございます』

『フーン、內儀さんかい、カニ藏は果報な奴だな、お前のやうな內儀さんに持つて……いま旦那樣に申し上げて來るから少し待つてゐねえよ』

『ハイ、有難う存じます』

門內へ入つて、待つてゐると間もなくそこへ來て

『逢ふと仰有つたぜ、お樣側にお出になるから此方へお入り』



吉田眼科醫院
醫學士 吉田久雄
平市紺屋町 電話六八番

「貯蓄は無盡で」
大御 三仟圓
一歩一歩ず宝の山
社交お歳しくならぬうち
無盡かけましよう今のうち
磐城無盡

星製藥株式會社
東京 五反田
一試藥無料進呈一
何通 食慾 榮養
[illegible]六郎先生創製

ホシ
ミクローゼ
酵母劑の上を行く…綜合ビルツ劑
健康をつくるにも 病氣を治すにも
便秘の害を先づ除け！

便秘ほど怖しいものはありません。逆上、メマヒ、息切れ、吹出物、頭痛、倦怠[illegible]、途には致命的な高血壓をさへ誘發します。しかし、便秘をコソクな對症藥で治さうとするのはこの上もない危險です。濫用は習慣を生み、腸の働きをバカにして了ひます。ミクローゼはビルツ（有效菌）の[illegible]する各種消化酵素とビタミンBの力によつて、腸の[illegible]を省き、蠕動力を強め[illegible]理のない[illegible]をもたらすのであります。

胃腸強生
能働
MICROSE
ミクローゼ

國はニッポン、魚は凍魚
日本水產特約
卸小賣 平製氷會社（電三八・三六）
◎ヒノマル凍魚
タヒ 甘鯛
エビ マナ鰹
白魚 帆立貝柱
冷カツノコ ウニ貝燒
平代理店 田町 魚問屋
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致シマス

新刊書籍
月刊雜誌
特價圖書販賣店
三英堂 村山書店
平市中央通（驛前通）

耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平市南町一六番地
電一七〇番
（入院隨意 病室完備）

開院
外科一般
內臟外科
整形外科
肛門病科
性病科
レントゲン科
上田外科醫院
院長 上田耕作
平市南町（平郵便局本局裏通り）
電話一二九番

おでんと
ヤキトリ
田町末廣トナリ
一柳

はねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下 電六七四

田毎の
おしること
たぞうに
中田町 電632

磐城名物
靈峰羊羹
小川鄕驛前
平屋賣店

安齋醫院
（平市田町）電話四七五

職域奉公の念も堅く
庶民金庫の總會
組員のお土産は貯金通帳

皇紀二千六百年を奉祝し併せて創立二十五周年を祝する信用組合平庶民金庫の總會は今十八日午前十時の物故組合員慰靈祭に引き續き同午後零時半から市公會堂に擧行された參會者は組合員千餘名、諸橋專務氏開會の辭を述べ宮城遙拜、橿原神宮遙拜、默禱、國歌齊唱、詔書捧讀型の如く了へ組合長諸橋久太郎氏挨拶を述べ、次いで組合功勞者十九名表彰、來賓有馬中央會頭の代讀祝辭があり受彰者を代表野崎理事謝辭を述べ別項の宣言及決議を滿場一致で可決同二時から堀切善次郎氏の講演に移つて萬歳三唱盛況裡に式を閉じたが時局柄設宴をはぶき全組合員へ記念品代として一圓宛記入した貯金通帳を投與、冗費節約と貯金思想涵養に一石二鳥の効果を擧げ組合員からも喜ばれてゐる

組合表彰者

靑沼理事以下十九名

平庶民金庫の總會で表彰された勤續並に事業功勞者は左の十九氏である

◇表彰者氏名

△理事　靑沼鋒太郎　野崎滿藏　關内正一

△監事　柏原眞吾　藤田榮助

△總代人　鈴木長三郎　多田井笑次郎　諸橋國松　高野吉太郎　高野虎三郎　高橋龜松

△信用評定委員　國府田直良　岡田政次郎

△職員　永井五郎　會川四郎

△組合事業功勞者　川角兼吉　岩本重雄　山部政治

△家の光普及功勞者、作山門

物故組員慰靈祭
總會に先立ち嚴肅裡に執行

別項、平庶民金庫の物故役職員二十五氏の慰靈祭は總會に先立ち午前十時公會堂日本間に於て諸橋組合長以下各役職員、物故者家族等多數參列の下に嚴肅裡に執行した

組合長の祭文

菊花薫るの秋、吾信用組合平庶民金庫創立二十五周年を迎へ其の記念大會を擧行するに先たち玆に謹んで物故せられたる役職員各位の淸靈を祭る

我組合は、大正五年三月の創立にして爾來幾多經濟界の變調ありしと雖も着々健實なる發達を遂げ今や組合員一千二百余名に及び貯金總額百三十余萬圓の盛況を見るに至り組合の基礎益々强固となる之れ實に物故せられたる役職員各位の努力と奮勵に負ふ處頗る大なるものあり玆に感謝の誠意を表し追悼の微意を捧く

今や曠古の國難に際會し組合の使命益々重きを加ふ組合員の和衷協同以て國力の充實强化に倍々國運の進展に寄與せんことを期す

各靈以て諒せられよ玆に恭しく香華を供し以て各位の冥福を祈る

物故役職員氏名

大谷久藏　白井博之　諸橋久太郎（先代）山崎與三郎　（先代）鈴木監助　横内直温　井上茂作　坂本隆藏　永山和平　小野圓次郎（先代）　鷹崎貞衛　星野淸吉　谷口仁太郎　鈴木重助　百澤易興（先代）　廣瀨銑一郎　三井常松　色川勝三郎　山崎喜正（先代）　靑木保太郎　鈴木壽一　野原國次　海老原武　馬目信之助　鈴木政一

宣言

吾等組合員一同は肇國の皇謨悠遠なるを思ひ東亞共榮圏確立高度國防建設の爲め和衷協力以て國威を宣揚すべく誓つて時艱の克服を期す

決議

一、吾等は共存同榮相互扶助の精神を基とし全市民の協力一致を圖ると共に日夜職域奉公の誠を致し以て臣道を全うせんことを期す

一、吾等は組合員精神の普及並に徹底を圖り以て平市全戸の組合加入を期す

一、吾等は現下内外の狀勢に鑑み尙一層貯蓄報國の實を擧ぐべきの要緊急なるを痛感し最短期間に組合貯金の倍增を期す　以上

小名濱の廢品回收
慰問袋と團体資金に充てる

十八日、十九日の廢品回收デーに小名濱町では小學校の應援を得て兒童を動員、廢品一人二品以上を生徒に持參を求める一方女子青年、國婦愛婦の婦人團体は古物商と協力各家庭訪問を行ひ賣却した金で慰問袋製作費並に團体活動資金に當ることになつた

大野村葬

二十日同村小學校で

大野村草野正之上等兵の村葬は來る二十日午後一時より同村小學校庭に於て執行する

聖紀奉祝の弓道會
一等は小名濱小野唯次郎氏

平弓道會主催聖紀奉祝弓道大會は十七日午前九時から大町弓場に平、石城、相馬、茨城の選士八十餘名出場の上擧行入賞者左の如し

一等小野唯次郎（小名濱）
二等佐藤藏之助（四　倉）
三等數　井　有（四　倉）
四等釜田　作治（入　山）
五等丹野　一男（小名濱）
五的小野　照行（小名濱）
揚的宮田平八郎（　平　）

珠算競技

小學校の優勝校

昨十七日平商業校で擧行した球算競技會の優勝校左の如し

▲尋常科（男子部）
一等平第三校、二等平第二校、三等內郷第三校

▲尋女子部
一等平第二校、二等平第三校、二等湯本尋高、三等湯本入山校

▲高等科（男子部）
一等湯本尋高
二等平第一校

▲高等科（女子部）
一等湯本尋高二等平第二校

入營兵報告祭

四倉町主催の

二十三日諏訪神社で

四倉町十五年度入營兵の送別報告祭は二十三日午前十時より鎭守諏訪神社々前に於て執行する

宿料に窮し
隣客から十圓拔く

平市二丁目大村屋旅館に止宿中の安達郡杉田村大字南杉田生れ菅川敏一（三五）は宿泊料の支拂ひに窮し十七日夜十時半頃隣室に泊つてゐた名古屋市中區一ノ一六淺井商店番頭佐藤奮七（六六）が入浴中を奇貨とし三百圓在中の紙入れから十圓拔き取つたこと發覺平署員に檢擧された

木造船組合
四倉で總會開く

福島縣木造船工業組合の第三回定期總會は二十日午後一時より四倉町柏屋旅館內に開催する

警視廳經濟巡査採用
質朴な東北青年に力瘤

經濟体制の刷新に備へ警視廳では年度內に經濟警察官及其の他の要員二千餘の大增員を行ふことに決定、質朴純心な東北人からこの大部分を採用する方針の下に石城郡泉村出身の警視廳監察官三瓶圭三郎並に同警察練習所敎官、縣出身服部長治の兩氏が十七日わざ〳〵歸鄕、關係方面を歷訪して地方青年の憤起を促す處あつた、同經濟巡査の有資格並に待遇は左の如く大政翼贊に協力し銃後の戰士たらんとする有意な青年にとつては絕好の登龍門である、殊に軍隊との恩給を通算することに成つてゐるから事變に應召歸還した勇士は短時日に恩給がつき頗る有利である

資格　滿二十才以上三十五才までの男子（身長五尺以上）

試驗　簡單なる作文、國語、算術並に人物考査（但し陸海軍下士以上、下士適任證書所有者、甲種中等學校以上卒業者、判任文官有資格者は筆記試驗免除につき試驗當日持參の事）

待遇　待遇敎習中手當支給、卒業後初任月收六十二圓以上、被服官給、軍隊との恩給通算

期日及場所
十一月二十七日　平警察署
〃　二十八日郡山警察署
〃　二十九日若松警察署
（詳細は町村及警察署職業紹介所へ照會されたいと）

人材登門の好機に
銃後の戰士たれ
鄕黨の三瓶監察官の激勵

警視廳には副總監格の警務部長高野源進氏を初め三瓶監察官廣木警防課長、多田經援課長等本縣出身の先輩が多數有力な位置を占め、廳內の福島縣人會が後輩の指導に努めてゐるから新任者も其の職に安んじ、登門の機會がそれだけ多く與へられてゐる譯である右について來平の三瓶監察官は語る

曠古の聖業遂或に當つて銃後に於ける經濟行政の第一線に立つ警察官の任務は非常に重い、戰場に於て東北人の兵隊强いと云ふことは萬人の認める處であり、この意味に於て銃後の戰士とも謂ふべき警官が紛飾のない質朴な東北青年が最適任であることは言を俟つまでもないのである、幸ひ警視廳には縣出身の先輩が多いから指導的方面にも有利で、此の際銃後の戰士として地方青年の憤起を切に希む

草野村葬

二十一日小學校で擧行

草野村渡邊昇重上等兵の村葬は二十一日午後一時より同村小學校庭に於て執行する

四倉町議補選
無競爭裡に決定

二十五日執行の四倉町會議員選擧は新妻町長、木村縣議の斡旋で無競爭裡に四氏推薦したが、この內石井鐵三郎氏は家事の都合上立候補を斷念した爲十七日更に一名の推薦を行なつた結果現警防團副團長片寄留松氏に決定各候補は十八日選擧事務長各委員を左の如く決定した

吉田彌十郎氏（委員）豊田美孝、佐藤仲氏（委員）鈴木賢二、片寄留松氏（委員）石井鐵三郎、本多辰吉氏（委員）金成岩吉四氏候補事務長木村守江

五年制を目標に
小名濱實科昇格か
卒業證書廢止案注目さる

小名濱町立實業學校では青年學校令に依る本科二年の卒業證書廢止問題に關し西山校長は十六日出福縣廳と接衝を續けてゐるが

同校は現在四年制で二年までが青年學校令による普通科一、二年生とし三、四年が本科一、二年生となつてゐるもので

この對策として一學敎增設五年制をとることを考究中で十八日の町會には小學校敷地、校舍擴張案を附議中等校への昇格も計畫中で昇格には約廿萬圓の費用を要するため年度內の實現は不可能と見られてゐる而し何れ卒業證書の廢止に伴ひて現在の制度は改革の急務に迫られてゐる爲各方面から刮目されてゐる

面目一新の
平署會議室
二十一日寄附者表彰

平署の會議室が最近頗る使用度數の增加したに鑑み管內木材業者、工場協會有志並びに平輿服會員等が相はかり過般二千餘圓を寄附、室內の模様替及び備品の新調をなしたので面目を一新するに至つた、同署では二十一日午後一時から寄附者三十余名に對し感謝狀を贈る事となつた

故新妻伍長の
義烈な精神
覺悟の和歌を和讃で供養

平市北白銀町出身故陸軍伍長新妻信淸氏の市葬は二十一日市公會堂で擧行されるが同氏の遺留品として實家へ送られた自畫寫眞の裏面に書遺した和歌が如實に物語る如く如何に忠勇義烈な皇道精神に燃えてゐたゞが窺はれ壯烈な戰死の穫を想起した市內五丁目眞正流如來講總本部猪狩師は同氏の遺した和歌を戰死者追悼和讃へ綴り込み軍人の龜鑑として供養の爲全國講員に唄はしめ永く世に傳へることになつた

和讃の一說

歸命頂來彌陀如來
身を鴻毛の塵となし
草むす屍なんのその
水漬屍ねんのその
唯ひたすらに大君の
みことかしこみ我は行く
七生報國覺悟にて
勳を語る筆のあと
薫けだかに
「身はたとへ野末の露と
消え行くも
とわに護らん
すめらぎの御代」
と散りにしますら男は
實にや護國の人柱
銃後の民の感激の
浮き淚を香華とし
生々世々に英靈の
冥福祈り奉る

利用價値昂る
―中小業者の金融機關（上）
庶民金庫の今昔
◇二十五周年を迎へ基礎愈固る◇

新体制下に於ける計劃經濟時代の新機構内にあつて、中小商工業者が起死回生の活路にあるとき、業者唯一の金融機關たる庶民金庫の使命や愈々重且つ大を加へるものであつて、この金融界常非時局に當り、平庶民金庫が基礎を愈々强固にし、二十五周年を迎へるに至つたことは力强い限りである。

信用組合平庶民金庫の創立は大正五年三月で當時の組合は僅かに組合員二百二名、出資口數五百二十一口、此の金額五千七百余圓に過ぎず、二十五年を閲した今日の組合員千二百余名、出資總額十五萬圓貯金百三十七萬圓に上つた今日の隆盛振りに比較すると感慨無量なるものがある、組合設立を計畫されたのは大正の初期で、平市の金融界は日露役後の好況時代尙去らず、群小銀行存在してゐたが中小商工業者に對する金融の途無く、庶民の金融機關を要望され、大正三年御大典記念事業として設立を計畫されたが一般に理解するもの尠なく遂に實現を見なかつた、

其の後故大谷久藏氏（大谷市議の尊父）がこれを遺憾とし東奔西走有力者の說得に努め自ら組合員を募集するなど積極的に活動した結果、大正五年三月漸やく設立を認可され此處に多年の目的を達するに至つた。

組合設立當初大谷氏を組合長に、事務所を組合長宅に置き中小商工業者に對する金融の途開けたが創立を見たばかりで組合員の尠ない關係と組合を理解する者が尠なかつた爲利用者も僅少に止まり從つて業積上らず經營頗る困難であつた、大谷組合長不斷の努力に依つて組合に對する理解年と共に昂り昭和三年には組合員七百六十四人、出資口數三千二百十一口、貯金四萬三千圓、貸付十三萬圓に達した。其の間第一次歐州戰爭勃發して市況活潑に動き、續く金融界の恐慌パニツク、關東大震災等々經濟界未曾有の大動搖あつて地方の金融界も混亂、銀行の破綻するもの續出しこの餘波を受けたが辛くも乘り切つて存立を全ふすることの出來たのは不幸中の幸ひであつた

賣却金銀二萬餘圓
……縣農工平支店の手柄　貯蓄債券二百枚賣る……

既報、平市の金卽賣熱には主催者側の戰時物資活用協會員を驚かし二日間受付けを延期して鑑定を急ぎ十七日夜までかゝつて漸く完了した、賣却した人員は六百三十八名、この件數二千三百九十餘點賣上げ額は二萬三千餘圓の多額に上つた、賣却金の中には寶物のやうに大切にしてゐた品が全然値打ちのないメツキであることが判明するなど悲喜交々であつた、尙縣農工銀行平支店では拔け目なく三日間會場の公會堂へ係員を派遣「金を賣つた金で國債を……」と一人々々勸誘十五圓劵二百枚賣却豫想外の好成績を收めた

江名隔離舍

江名町隔離舍は腐朽甚だしく地理的にも當を得ないため名匠の土地寄附申出でを容れ現代様式の設計の下に建築する事に決定し明年度豫算に計上新築することになつた

天氣豫報

今晚　北の風曇り後晴
明日　北の風晴れ一時曇り

十九日

滿潮　前五、四〇　後七、三〇
干潮　前……　後二、三五

舊十月二十日
火曜　丙寅　大安　平　室宿
新十一月十九日

▲一白　內外ともに溫情に充てる日自然の發展あり▲二黑　心を締されば意外の邊よりもつれを生ずべし▲三碧　勤勉にして他に心を散さずば吉日たるべし▲四綠　薄命の日にして何事にもあれ凶に走り易し▲五黃　根氣よく物にうまざれば發達の緒を開くべし▲六白　確く本分を守りなれぬ事には手を出す勿れ▲七赤　內をからにして外にのみ走るときは敗れあり▲八白　一步は一步より地盤を固めて漸次進むべし▲九紫　次第次第に幸福になり行く吉日急ぐなかれ

急募

一、新聞記者見習　若干名
二十才前後の意志强固なる青年

一、營業部員　若干名
年齡十八才より三十才まで

一、給　仕　若干名
高等小學校卒業程度の十四五才の少年

磐城每日新聞社

警視廳經濟警察官增員及び其の他の要員
2000名募集

資格　滿二十歲以上三十五歲ノ男子（身長五尺以上）
試驗　簡單ナル作文、國語、算術並ニ人物考査　但シ甲種中等學校以上卒業者、判任文官有資格者、陸海軍下士以上、下士適任證書所有者ハ筆記試驗免除ニ付當日證書持參ノ事、
待遇　判任官待遇、敎習中手當支給、卒業後初任月收六十二圓以上、被服官給、軍隊トノ恩給通算、
試驗期日及ビ場所
十一月二十七日　平警察署
十一月二十八日　郡山警察署
十一月二十九日　若松警察署
受驗手續試驗當日　志願書、履歷書、寫眞携帶出頭ノ事　◉尙詳細ハ當練習所、最寄警察署、市町村役場、職業紹介所ニ照會ノ事

東京市芝區田村町六丁目八番地
警視廳警察練習所

防空暗幕

天幕●シート　防水テント　カーテン●敷物、防水加工　製作販賣

●設計と施工●
敷島屋商店
平市六丁目六　電呼四八三番

大小の御宴會にホール
御家族の御同伴に御座敷
いつも材料を吟味して居ります

平市四丁目
マルトモ食堂
（電話一二三番）

正確なる
体溫計
寒暖計
計量器指定販賣（各種）
平市五丁目角
山野邊藥局

肉の御用命は
三二三屋
牛も豚も優良品の自慢